

大好評につき
追加開催決定!

総合ユニコム「不動産マネジメントセミナー」のご案内

相次ぐ高級リゾート構想、放出される生産緑地、続出する所有者不明土地・空き家、オーバースペックなオフィスビル競争、インバウンドマネーと不動産投資市場、等々。2020年東京オリンピック後の不動産事業の課題と事業機会を解説する。

不動産バブル崩壊はあるのか? 2020年以降に「不動産の価値革命」が起きる!

注目の不動産事業プロデューサー 牧野知弘氏が見立てる

[不動産価値革命]で生まれる 新・ビジネスチャンス研究

不動産価値を向上させる「ソフトウェア戦略」への転換を!

ご 案 内

2020年東京五輪開催を前に東京では再開ラッシュで、不動産・建設業界は活況の様相を見せています。しかし、リーマンショックから10年を経て再び世界経済における金融不安の懸念も高まってきており、不動産バブルの崩壊を予見する声も聞こえてきました。

ことに国内不動産マーケットでは、沖縄や九州などで「高級リゾート構想」が相次ぐ一方で、2022年には大都市圏を中心に膨大な「生産緑地」が市場に放出され、また全国的に「所有者不明土地」「空き家」の続出、さらに首都圏でもオーバースペックなオフィスビル開発競争など、マーケットの先行きに不安要素となるトピックスが多々存在しています。

はたして、今後の不動産ビジネスはどうなるのでしょうか?

本セミナーでは、不動産事業プロデューサーとして今最も注目される**牧野知弘氏**(オラガ総研)を講師にお迎えし、不動産市場を取り巻く様々なトピックスがもたらすインパクト、ならびに2020年以降に起きる「不動産価値革命」について解説いただきます。不動産価値の見方が変わる時代に備えて、どのように戦略を立て直すべきなのか、そこで新たに生まれるビジネスチャンスにも言及していただきます。不動産事業に携わる方々ので参加を強くお勧めいたします。

日 時 2019年4月9日(火)13:00~17:00

会 場 東京ガーデンパレス

東京都文京区湯島1-7-5

TEL 03-3813-6211(代表)

※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参 加 費 44,280円(1名様につき)
(消費税及び地方消費税3,280円含む)

●同一申込書にて2名様以上参加の場合
39,960円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税2,960円含む)

※テキスト・コーヒー代含む

主 催 総合ユニコム株式会社

Property
management

月刊レジャー産業 資料

〒104-0031

東京都中央区京橋2-10-2 ぬり彦ビル南館

TEL. 03-3563-0025(代表)

※弊社ホームページからも、本セミナーはお申込みいただけます!
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

お申込み先 ▶ FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560
※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけ直してください。

お問合せ先 ▶ 総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

参加申込書

[不動産価値革命]で生まれる新・ビジネスチャンス研究

●会社名(フリガナ)

●貴社業種

●振込予定日() 月 () 日

●当日現金支払い希望...☐

●ご担当者名()

●所在地(〒)

TEL. ()

FAX. ()

●出席者名①(フリガナ)

●所属部署・役職名

●E-MAIL

●出席者名②(フリガナ)

●所属部署・役職名

●E-MAIL

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証」請求書/銀行振込用紙)をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名前1枚」と共にお願いいたします。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名前1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けれます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けれます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

「不動産価値革命」で生まれる新・ビジネスチャンス研究

セミナープログラム

13:00~17:00 ※15時前後に15分間のコーヒーブレイクを挟みます。

I. 不動産マーケットの現況を知る

1. 地価動向
地価は回復基調／東京圏住宅地・商業地の上昇ベスト10
2. オフィスビル
近年完成したビルは巨漢ビルばかり／今年以降も航空母艦クラスのビルが林立
3. 住宅
JR駅前タワマンと超高級マンションは好調／タワマンにも天井感？／新築マンションは大幅な値上がり
4. 不動産投資マネー
ホテル新設および建替え計画がラッシュに／大手デベロッパーに集中する資金／J-REITを支える金融マーケット／不動産投資すごろく

II. マーケット変節の兆しを探る

1. 日本は25年周期で動いている
2. 日本の復興期(1946年~70年)
復興の象徴が必要な時代／三種の神器の登場／人々は夢を追いかけて都会へ
3. 日本の成長期(1971年~95年)
都会に集まった人々は家を求めて郊外へ。ニュータウンの開発／「住宅神話」を信じた時代／「都心部にオフィス、郊外部には大型商業施設」が成功の方程式だった
4. 日本の大転換期(1996年~現在)
 - 日本社会の構造変化と東京への一極集中
「大転換」が生じたのは1996年。何故か？／95年以降、日本人は東京に集結。「後押し」した大都市法改正／東京都中央区の人口は急回復／郊外ニュータウンは厳しく衰退／郊外高級住宅地の衰退
 - 空き家問題
首都圏でも空き家は深刻化／相続した親の家が「やっかいもの」に？／固定資産税を容易に減額できない地方自治体／今後、空き家数は2,000万戸時代へ
 - マンション老朽化問題
マンション600万戸時代を迎えて／6分の1が旧耐震基準／都内マンションは今後急速に老朽化／建替え可能な条件と現実のギャップ／マーケットは高価格帯勝負へ
 - オフィスビルの今後
大規模ビルは今後も供給が続く／低い空室率にはバイアスが？／オフィスマーケットは壮絶な生き残り競争へ

III. 「伸びる不動産」「縮む不動産」

1. 「縮む不動産」とは？
戸建て住宅も1,000万円割れ／ベッドタウンは急速に高齢化／生産緑地制度の期限到来／首都圏郊外でも200万~300万円台のマンションが登場／追加修繕費が負担できないマンションの行方／東京はアジアの「国際金融センター」になれるか？／ワンフロア500坪以上、賃料4万円支払い可能なテナントはわずか／オフィスビルテナント「ドミノ倒し」の危険性／中小ビルオーナーの悩み
2. 「伸びる不動産」とは？
 - 投資マネーと結びついた不動産ビジネス
超・高級マンション時代の幕開け／高位安定はブランド住宅地
 - インバウンド関連
訪日外国人は3,000万人超えへ／中国の富裕層は急増／ニセコや白馬に外国人マーケットが誕生／人々が集まる駅前ビジネス。注目の駅は？／「民泊」の方向性／京都市での民泊営業規制／「民泊」は地方の宿泊施設を補う切り札に！
 - 都心居住
子育てに最適な賃貸アパート／一世帯2住宅／世代循環型の住宅地／「新陳代謝」を自ら仕掛ける街／マイホームで稼がせる手立ては？
 - 不動産再生ビジネス
老朽化建物のリノベーション／空き家のシェアハウスによる活用／中古ビルのコンバージョン／ホテル・旅館の買収・再生
 - 富裕層向け不動産・その他
ブティックホテルの可能性／統合型リゾート(IR)の必要性／医療ツーリズムの課題／超高級リゾートは成立するか？／アウトレットモールも「ついで買い」を演出する施設に／新橋タウンマネジメント構想／所有不動産を「伸びる不動産」として稼ぎ頭にするには

IV. 「不動産価値革命」が新たな世の中を創る

- ハード中心からソフトウェア中心の世の中へ
- ブティック型不動産業の隆盛(分散・セグメント化した顧客を捕まえるために)
- 今後は「都市間格差」「街間格差」の時代へ
- 都市が成長するKFSは「新陳代謝」。活発な都市ランキング
- ひとの呼び込みは「陸・海・空」の三軍体制で
- コワーキング施設の急増とオフィスマーケットへの影響
- 「家」のあり方の激変に注目
- 新しい不動産事業創出の可能性
- 「不動産価値革命」の到来

講師プロフィール



牧野 知弘

(まきの ともひろ)
オラガ総研(株)／
(株)オフィス・牧野
代表取締役

東京大学経済学部卒業。第一勧業銀行(現みずほ銀行)、ボストンコンサルティンググループを経て、1989年三井不動産(株)入社(オフィスビルのAM・PM、買収・開発、証券化に従事)。(株)三井不動産ホテルマネジメント出向の後、2006年に日本コマーシャル投資法人執行役員に就任し、同年9月に東証上場。09年(株)オフィス・牧野を設立、15年オラガ総研(株)を設立。不動産事業の企画・プロデュース・アドバイザー業務に携わる。

主な著書に、『なぜ、町の不動産屋はつぶれないのか』『なぜビジネスホテルは、一泊四千円でやっていけるのか』『だから、日本の不動産は値上がりする』『空き家問題——1000万戸の衝撃』『インバウンドの衝撃——外国人観光客が支える日本経済』『民泊ビジネス』『業界だけが知っている「家・土地」バブル崩壊(いずれも祥伝社新書)』『2020年マンション大崩壊』『2040年全ビジネスモデル崩壊』(ともに文春新書)、『老いる東京、甦る地方』(PHPビジネス新書)、『マイホーム価値革命——2022年、「不動産」の常識が変わる』(NHK出版新書)、『街間格差——オリンピック後に輝く街、くすむ街』(中公新書ラクレ)等がある。

前回セミナー(2018年11月開催)参加者の主な声

- ・大変わかりやすい講演で、不動産ビジネスについて深く知ることができた (建設会社)
- ・とても聞きやすいし、記憶に残りやすい (不動産会社)
- ・面白かったです。予想以上に興味深く感じました (不動産コンサルタント)
- ・実体験に基づく今の日本・世界の状況を知ることができ、とても勉強になった (無記名)
- ・分かりやすく、色々な切り口の話聞いて面白かった (ビル管理会社)
- ・実例が豊富で、とても参考になりました (不動産会社)
- ・内容が分かりやすくまとまっており、非常に参考になりました (建設会社)